

人の一生は重き荷を負ふて
遠き道を行くが如し急ぐ可らず

韓大豆の將來

●金巾賣行惱まんこす

過ぎた元日
(下)

11

何だ詰らないんだ

6

日本鎗刀傳

1

第廿一席 昌井一

◆◆◆

……其の坊主なか／＼刀懸
あると見えて、例でも家の

女胸

ふにはね前さんの家でチーン
と云ふ音がすると、其調子に

合計

飯も食はずに箸でコーン、コ
レを打ち始めた、所がこれ

前

ポンと伏せてあり失敗つた
ブーンと上機を打つと、茶碗

20

さうだ、すると私を二階へ招

pa

それ前のことを日本一と褒め

51

云ふと、オ、左様か、夫れな

5

十六だの二十八だのと面倒に

2

よから俺は此の通りスツカリ
て置いたのだ、忘れぬやうに

...

で實はね前を威嚇かさうと用
意から出たやうに言つて魅^ひ込^め

目

1

A black and white woodblock print illustration of a man in a patterned kimono running through a field. He is barefoot and has a determined expression, with his right arm extended forward. The background shows a line of trees and a fence.

のんとしつ　つ　此　つ　つ　日　す　と　を　書　夫　私　過
 本はと異綴ひして翻經直して立上り
 村ヲシテ其二人は何處へ往つた事ヲ明神
 様の方へまじ　村オ、老人のこと故違
 きは往くまじ　跡退ひかけて
 と打上りて彼の薪刀を取直し、表を目
 懸けて走出る　事ア、喜左衛門さん、
 飛んでもない、よく待つて呉んなさ
 い」と止める李主を押し返け突き返け
 眞一文字　燕返しに、バツ／＼
 の道とトボ／＼と歩掛かる正宗と貞宗
 正「貞宗や今日は好い天氣だの」左
 様でございます、山の登り口ゆわ味
 章院でございませう」正「寄るまいも

本會提供品に就ては好評蒙々
 如きは舊職既に満員と相成
 々到來通信日席上謝絕仕愛顧に付更に
 して
壹百名
 募集致候間此段特に廣告候也
 月賦
京城時計振興會

私儀從來座に於て興行在經候儀昨々合意上座座に關係を
經手今更に歌舞座を借り受け大阪名園外中村福國外
若手俳優を以て組織せざる大一座を招き當る一月十七日初日
開演付り萬事懇切と熱心を以て御客機方の御便宜を計り可
申候間借舊の御引立偏に奉願候也

於歌舞座

一月十五日

阪本吾市

富籤謝禮廣告

一金一千圓 (債券)

右京城聯合繁榮會二等に富籤し債券正に受領仕候間茲に同會の正確なる事を證明致候也

明治四十三年
一月九日
清月事
村山源平

▲無料紹介▼

物件部

本町一丁目目抜の場所
 本町一丁目目抜の場所
 本町一丁目目抜の場所

傲義與旨恍然似有得者
聖推麗明厥臨茫洋辭意

純二牛乳。

電話 〇六九

人完遺意

支那の支那

卷之四

出た。これに、

代理店 京橋本町一丁目(長谷川町へ通る)

充
五
寸
監
去
見
目
正
香
大

京城

●**肩凝不炭** 四車ノ下

のあなは

電話千四百十一

洋物類

齒科台康
ドクトル
中村安子

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
 京成旭町一丁目六十七番三

富美拉張屋

來濱
會物
製
造
工

大正

釋特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕各

京雄堀町二丁目(名古屋城横へ入る)

荒物世帶道具一切
大令製日校由印作賣局
印卜賣

銘酒澤龜
名國酒
アサヒ
マツボ
ヒメ
●●●
西崎嘉七本店
電話長二二〇番
（二カ又ハ）

強
—
產
各
耳

●入院隨應●院長醫學得業士蘆田耕

夏城方和圖二目
（日の出橋際）

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

卷紙封筒手帳類
子羊傘カッパ
札
京城本町四丁目

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

毒至百上

電話一三八一
位置の適當なるは御出入に御座候御取扱を懇切

支本店
店
出長
張崎
所市
所鐵
町
二〇

長崎銀行代理

山ノ内、御影、兵庫、神戸、平野、
岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、
住吉、美木、下市

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟

丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津久濱

電話三九番 荻山、長崎、門司、神戸行

立神丸 一月廿六日午後